

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成 28年												平成 29年												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月 ~7日	5月 ~14日	5月 ~21日	5月 ~28日	6月 ~4日	6月 ~11日	6月 ~18日	6月 ~25日	7月 ~2日
カンピロバクター	72	56	111	153	116	189	214	150	101	118	66	84	61	68	80	122	9	30	19	25	24	34	31	29	21
病原性大腸菌	140	146	163	167	150	157	240	182	166	227	180	147	107	105	89	113	6	7	37	14	27	60	26	21 (22)	28
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	1	3	1	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
サルモネラ	12	4	2	8	12	4	19	21	12	16	4	6	0	1	7	11	2	2	3	3	4	2	3	3 (4)	3
黄色ブドウ球菌 MSSA	23	20	25	14	19	32	14	24	23	27	8	15	6	11	12	15	2	5	1	1	8	0	9	3 (4)	7
黄色ブドウ球菌 MRSA	11	11	16	21	20	27	24	19	19	18	14	20	16	19	13	17	5	4	3	3	5	3	11	3 (4)	6
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	3	3	1	9	10	9	4	2	2	0	2	1	3	0	0	0	0	2	1	1	1	0
ロタウイルス	4	19	29	24	29	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	6	0	1	3	2	1	0	2	0	0
アデノウイルス	2	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	20	20	5	9	2	2	5	0	0	0	0	21	7	4	8	6	0	2	7	2	4	2	1	6	2

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

広島県感染症発生動向週報

平成29年第26週(6月26日~7月2日)

2 一類-二類-三類-四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市	
一類	0	発生なし	0								
二類	10	結核	10		3	3	1	3			
三類	0	発生なし	0								
四類	3	重症熱性血小板減少症候群	1		1						
		日本紅斑熱	2			1				1	
五類全数	7	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1						1		
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1							1	
		侵襲性肺炎球菌感染症	2	1	1						
		水痘(入院例)	1								1
		梅毒	2							2	

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第26週 6/26～7/2)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. 手足口病

定点当たり3.63人の報告がありました。広島市では第24週以降減少していますが、全国的には増加が続いており、西日本を中心に報告数が多い状況となっています。

引き続き、手洗いの励行や排泄物の適切な処理などの感染予防対策を徹底しましょう。

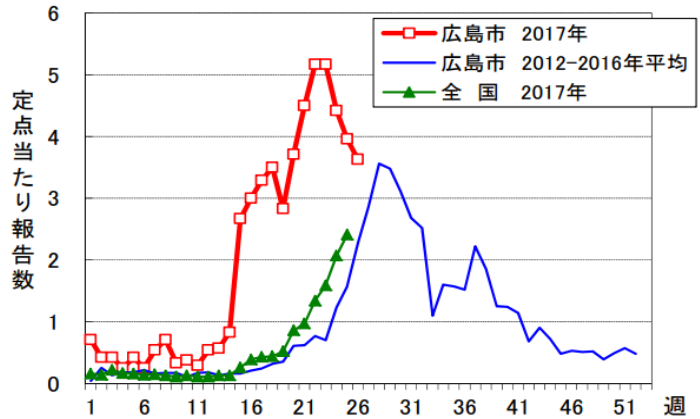
2. 流行性角結膜炎

定点当たり1.88人と、例年同時期と比べて報告数が多くなっています。

流行性角結膜炎は、アデノウイルスを原因とする急性の結膜炎です。年間を通してみられますが、8月を中心とした夏に多くなる傾向にあります。

感染経路は主に目を拭いた手やタオルからの接触感染ですので、手洗いをきちんと行い、タオルの共用を避けることが大切です。

手足口病の流行状況



■ 定点把握感染症報告状況 (週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
小児科	インフルエンザ	-	-	0.01			小児科 眼科 基幹	流行性耳下腺炎	3	0.13	0.87		
	咽頭結膜熱	17	0.71	0.92				RSウイルス感染症	3	0.13	0.06		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	68	2.83	1.98				急性出血性結膜炎	-	-	0.08		
	感染性胃腸炎	148	6.17	5.10				流行性角結膜炎	15	1.88	0.78		
	水痘	5	0.21	0.79				細菌性髄膜炎	-	-	-		
	手足口病	87	3.63	2.28				無菌性髄膜炎	-	-	0.11		
	伝染性紅斑	2	0.08	0.29				マイコプラズマ肺炎	-	-	0.37		
	突発性発しん	8	0.33	0.61				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	百日咳	-	-	0.02				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-		
	ヘルパンギーナ	11	0.46	1.77									

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	⇄		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	73	男性(70歳代)・1人、女性(80歳代)・1人、男性(90歳代)・1人

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の呼吸器疾患	発熱(40.3) 上気道炎 気管支炎	1	女	2017/05/07	咽頭拭い液	アデノウイルス1型
その他の呼吸器疾患	発熱(41.0) 咽頭炎 リンパ節腫脹	4	男	2017/05/16	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.2) 上気道炎 気管支炎 無呼吸	0	男	2017/05/24	咽頭拭い液 鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.5) 肺炎	5	女	2017/05/27	咽頭拭い液 鼻汁	ライノウイルス
その他の消化器疾患	腹痛	2	男	2017/05/24	糞便	アデノウイルス1型
その他の疾患	発熱(38.0)	0	男	2017/05/26	咽頭拭い液 鼻汁	ライノウイルス
その他の疾患	発熱(38.3) 咽頭炎 鼻炎	0	女	2017/05/29	咽頭拭い液	ライノウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載